

主な論点（事務局の案）

- 1 高齢者の就業参加が進む中で事業者によく取り組んで頂きたいことをガイドラインとして取りまとめるはどうか。
 - (1) 加齢により低下した身体機能を補う設備・装置（ハード面）
 - ・建物、床面、設備、安全標識、照明、防具・保護具等
 - (2) 身体機能に配慮した作業管理（ソフト面）
 - ・働き方、労働時間管理、作業ペースや量、作業方法、マニュアル
 - (3) 健康管理と健康保持増進
 - ・定期健康診断、就業上の配慮、体カテスト、健康づくり
 - ・メンタルヘルスケア、相談しやすい職場づくり
 - (4) 労働安全衛生教育
 - ・若年期からの啓発、高齢期の教育
 - (5) 先進技術の活用
 - ・機械化、ICT化技術の活用
 - ・腰痛予防の機器、ウェアラブルセンサーなど
 - (6) その他
- 2 事業者・労働者の取組が進むよう指導・支援の工夫が必要ではないか。
 - (1) 普及促進に向けた広報戦略、アウトリーチ、気運の醸成
 - (2) ガイドラインを踏まえた事業者への指導
 - (3) 特に支援が必要な産業分野、中小零細事業場に対する働きかけ
 - ・支援事業などによる人材育成、取組の普及
 - ・助成制度の創設
- 3 地域で取り組まれている健康づくりや健康保険の保険者との連携が必要ではないか。
- 4 高年齢労働者の就労実態、先進技術について、更なる調査研究が必要ではないか。